

公務災害防止事業の推進

▶ 安全管理セミナーを実施して ◀

秋田県消防協会由利本荘にかほ支部

1. はじめに

秋田県消防協会由利本荘にかほ支部は、秋田県の南西部に位置しており、由利本荘市、にかほ市の2市で構成されています。

由利本荘市は、秋田県でも最大の面積を誇り、南は鳥海山、西は日本海に囲まれています。そして、鳥海山の山裾に源流を発する一級河川「子吉川」が市の中央を日本海へ向かって流れる、多様な自然環境に恵まれた土地です。また、古くから交通の要所として栄え、かつて城下町が置かれた地域には歴史的・文化的遺産が数多く残されています。

にかほ市は、秋田県の最も南西に位置し、県内では春の訪れが最も早い、温暖な地域として知られています。にかほ市もまた南に鳥海山、西に日本海を臨み、豊かな自然の恩恵を受けるこの土地は、山川海が共存する恵まれた環境となっており、さらに、国指定の伝統芸能や、神社など歴史を感じることできるまちとなっています。

2市ともに、鳥海山を中心とした観光やアウトドア、日本海でのマリンスポーツを楽しむことができ、山岳地帯から湿地、高原、河川、海浜と変化に富んだ景観をみることができます。

人口は2市合わせて約10万8千人となっていますが、全国的に課題となっている人口減少の問題は2市でも例外ではありません。

2. 由利本荘にかほ支部について

当支部の消防団は、由利本荘市消防団が8支団48分団で団員数1,677名、にかほ市消防団が7

分団で団員数569名、団員総数2,246名あまりで構成され、常備消防職員と連携し2市合わせて約1,500平方キロメートルの広大な土地を守っています。

近年の大規模化、多種多様化する災害から市民の安全安心を守るため、どのような災害にも対応できるように、また、市民に期待される消防団づくりを進めることを目指して日々活動しています。

3. 安全管理セミナー開催の経緯

当支部では、消防団員の公務災害防止・安全対策を第一に考え、これまでも安全管理に関する研修会を開催してきました。しかし、近年になり災害現場のみならず、ポンプ操法や防災訓練などにおいても公務災害が多く発生するようになりました。そのため、消防団活動に潜む様々な危険を見抜き、これらの危険からどのようにしたら事故、けがを防ぐことができるのか、どうしたら適切な行動、対応ができるのか、再度安全管理の基本を学び直そうということから、当支部の幹部を対象に安全管理セミナーを開催する運びとなりました。

4. 安全管理セミナーを実施して

平成27年10月22日(木)、にかほ市総合福祉交流センター(スマイル)において、消防基金のS-KYT指導員の加藤豊明先生をお招きして安全管理セミナーを開催し、支部長以下43名が参加しました。

セミナーでは公務災害の発生状況や、その傾

向と原因、事故の予防策、教育・訓練等のあり方、現場指揮者としての心構え等を分かりやすくご講義いただきました。事故の予防策として健康管理が重要であるとの説明をいただき、消防活動はスポーツに当てはめるとどの程度の重労働なのかを、具体的な数字を示して説明いただきました。これまで消防活動が重労働だという認識はあっても、どこか漠然としていましたが、具体的な数字を示し、どの程度重労働なのかを説明いただいたことで、「なるほど」、「そんなに」といった感心や、驚きの声を聞く場面もありました。

また、公務災害を防止するために不可欠な、災害現場に潜む危険を見抜く力を養う手法として、消防団危険予知訓練(S-KYT)にも触れていただき、それらの内容にも真剣に聞き入っていました。

講義終了後のアンケートでは、公務災害の多さや、その多くが訓練時に発生していることへの驚き、普段からの健康管理がいかに大切かを認識する声、そして、現場指揮者としての心構

えを見直す声などがあり、たいへん有意義な安全管理セミナーであったことが伺えました。

5. 今後の取組

近年の大規模化、多種多様化する災害に対し、消防団に対する期待はますます高まっています。しかし、それに伴う公務災害はあってはならないことです。今後も「公務災害ゼロ」を目指し、未受講の団員へのフィードバックを含め、継続して安全管理に対する研修を実施したいと考えています。また、前述のアンケートではS-KYTの重要性と、より踏み込んだ内容の実践的な研修の実施を希望する声も多くありました。そのため、今後はS-KYT研修の実施も計画していきたいと考えております。

最後にこのような機会を与えて下さいました消防団員等公務災害補償等共済基金の皆様に感謝申し上げます。

